

などを通じて脱炭素化を図り、持続可能な観光地を実現していく区域」として登録するものです。登録するためには「ゼロカーボンシティ宣言」が必要となり、管内他町は宣言を実施しており、本取り組みを推進する予定であります。

このような情勢を踏まえ、町として取り組みを促進するため、まず始めに、今月中に公共施設における温暖化対策実行計画を策定し、温室効果ガス削減に向けた取り組みを推進していきます。

本計画の具体的内容ですが、令和7年度から始まる5か年計画とし、主な取り組みとして、照明設備のLED化や太陽光発電など再生可能エネルギーの導入、職員に対するクールビズなどの励行や節電などを徹底し、二酸化炭素の削減目標を2020年対比29%削減するものです。併せて、2050年における温室効果ガス排出量実質ゼロとなるよう、町民や事業者の皆さんと共に推進することを町として表明するため、「ゼロカーボンシティ宣言」を行います。

今後は、「ゼロカーボンパーク登録」や町民や事業者を含めた町全域の取り組み施策を盛り込んだ計画の策定について検討していきます。

1日現在で2名の合格が内定しております。

3 新冠町学生等応援給付金の支給結果

電気やガスなどのエネルギーや食料品などの物価高騰に伴い、家計に影響を受けている学生などに対し、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、給付金事業を実施しましたので、結果を報告します。

本給付金は、令和6年6月1日の基準日において、町内に住所を有する学生など、または、基準日以前に町内に住所を有する世帯の世帯員として住民登録されていた学生などを対象とし、修学に対する応援と経済的負担の軽減を図ることを目的に昨年度と同様に1人当たり2万円を給付したものです。

給付結果は、道内21市町村および全国16都府県などで勉学に励んでおります高校生や大学生など251名から申請があり、支給総額は502万円となりました。

最後に、行政報告が終了した後お時間をお借りして、私から別に配布しました「新冠町ゼロカーボンシティ宣言」を読み上げ、宣言としますのようしく願います。

教育長行政報告

1 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果

本調査は、小学5年生と中学2年生を対象に、実技8種目に加え、児童生徒および学校、教育委員会に対する質問紙調査の内容により実施しているものです。本年度の結果につきましては、1月10日付でスポーツ庁から全道および全国との比較資料を含めて通知がありましたので、概要について報告します。

体格に関する項目について、身長・体重の状況では、小学校は男子が全道・全国平均と同様の結果となった一方で、女子については、身長は全道・全国平均を若干上回り、体重は上回りました。中学校においては、男子は身長・体重ともに全道・全国平均を上回り、女子については身長・体重ともに同様となりました。

3月11日追加町長行政報告

1 日高徳洲会病院移転新築に係る協定締結について

「日高徳洲会病院移転新築に係る協定締結について」これまでの取り組みの経緯と協定の締結について、ご報告申し上げます。

この度の行政報告につきまして、協定締結が、定例会会期中の3月10日であったこと、および医療福祉施策における重要な事項であることを鑑み、本日行政報告させていただきますことを先ずもってご理解いただきたいと思います。

私はこれまで、医療福祉施策は、まちづくりの根幹であり、その環境整備は、町民生活に関わるものとして、その推進に特段の意を用いてきました。そのことは、私の町政一期末目において、閉鎖していた入院病床を直ちに復活させ、二期目には老朽化著しい町立国保診療所の改築計画に着手するなど、これまで多くの時間を関係職員と共に費やしてきました。

しかしながら、改築計画を進めるに当たり、改築に要する費用は、当初に想定していた本体工事費

次に、実技調査の結果について、小学校男子においては、「握力」が全国平均より高いほか、5種目において全国平均をやや上回りましたが、「上体起こし」に課題が見られ、8種目の合計点で全国平均と「同様」という結果でありました。

小学校女子においては、「握力」と「立ち幅とび」の2種目で全国平均を上回りましたが、「20mシャトルラン」など3種目で課題が見られ、合計点で全国平均と比べ「やや低い」という結果となりました。中学校男子においては「握力」など4種目で全国平均を上回りましたが、一方で「長座体前屈」「20mシャトルラン」などの4種目で課題が見られました。合計点では、全国平均と比べ「やや高い」という結果となりました。

女子においては「ハンドボール投げ」の1種目で全国平均を上回りましたが、「長座体前屈」「上体起こし」「20mシャトルラン」などの5種目に課題が見られ、合計点で全国平均と比べ「やや低い」という結果となりました。

最後に、児童・生徒質問用紙における運動習慣調査の結果につきましては、小中学校ともに男子においては、「運動が好き」「保健体

15億8千万円から、基本設計を終えた段階には25億円までに達し、その後の実施設計までの間においては、更なる増額が想定されたこと、加えて工事期間が長期に及ぶという社会情勢を十分斟酌し、改築計画の推進を一旦立ち止まる決断を、令和5年11月にしたところです。

その後も現在に至るまで、建築資材価格は、高止まりの状況にあり、また労務費は上昇傾向が続くなど、建設工事を取り巻く社会環境は、厳しさを増しています。

このような中、昨年1月12日の新聞報道において、日高徳洲会病院の移転新築候補地について再検討を行うこと、および移転候補地の検討エリアを新冠町にまで拡げるとの報道は、私にとつて大きな驚きであったと同時に、同病院の真意を測りかねる、戸惑いに近い思いでした。

しかしながら、報道後、時間を置くことなく同病院のスタッフが訪れ、当初の移転候補地が、地質調査の結果、移転新築先とすることが出来ないこと、そして、改めて新ひだか町を優先に移転候補地を検討するが、適地がない時は新冠町にエリアを広げ、移転先を探るといった説明がありました。

育の授業は楽しい」という回答が全道・全国平均より多く見られました。

一方、女子については、小中学校ともに肯定的な回答が全道・全国平均より低く、授業における目標に対し「できたり、分かったりする」といった質問についても、同様の結果でありました。

当町の全体的な傾向といたしましては、男子においては、体育を好み実技調査の結果も比較的良好な結果が出ておりますが、女子については低い傾向にあり、また、実技における共通の課題としては、「上体起こし」や「長座体前屈」といった、筋力、筋持久性や柔軟性の不足がありますことから、結果分析を進め、経年的な傾向も踏まえながら、引き続き各学校および町教研協保体部会において体力向上対策に取り組んでいきます。

2 新冠中学校卒業生の進路希望状況

本年度の進路希望状況は、総生徒数37名の内、36名が進学を希望しており、出願の内訳では、静内高校26名、静内農業高校5名、道内公立高校3名、道内私立高校2名となっており、このうち、3月

この時点では、日高徳洲会病院の移転新築先について、新冠町はあくまでも予備的候補地でしたが、新聞報道後の町民の期待感は大変大きく、私の元へは、同病院を当町へ誘致することに、最大限努力してほしいという多くの町民の声が届き、この声を後押しに私は、誘致に向けた取り組みに鋭意努めてきました。

誘致に向けた取り組みは、新冠町企業誘致条例に基づく誘致策として、開業から3年間の固定資産税相当額の交付、水道・接続道路といったインフラ整備、立地敷地の無償提供に加え、その他必要な支援策として開業から20年間、年7千万円の支援金の交付など、新冠町における新たな開院に対する物的・経済的支援策の提示をしたほか、医療法人・徳洲会常務理事兼北海道ブロック長への陳情と行ったことができました。

いずれも当町が出来る最大限の支援であり、誠意であります。新冠町の医療福祉の将来を考えた時、民間経営の総合病院の誘致がもたらす町民利益は、医療福祉の分野に留まらず、町の経済や産業など各方面に及ぶものと考えられ、